町田市地域店動サポートオフィ _{事業内容}			具体的な活動内容	指標	現状値 (2021年	目標値 (4年間合	達成時期	4か年の工程表 該				該当する活動方針
		4.米L14L	公品もんな月本は14日	11175	度)	計)	Æ/X-1791	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
コー ディネ	ア	相談対応	・事務所での対応だけでなく活動現場へのアウトリーチによる相談を重視する。 ・多機関と連携しての支援も積極的に行う。 ・単発の相談から協働事業の実施支援へ注力していく。	相談件数	156件/年	600件	2026年度	事務所だけでは ないアウトリーチ による相談対応			各地区に協働事 業ができるしくみ ができる	①地域活動の場と担い手の 拡充 ③協働・共創の推進
ート事業	1	協働事業の支援	・地区ミーティング等で企画された協働事業の支援体制の構築 ・協働事業を生み出す寄り合いの開催(まちカフェ!オープンデー、地区ごとのオープンデー等) ・○ごと大作戦等の団体のその後の展開支援	実施回数	-	40件	2026年度	各地区の協働事業実施支援のプログラムをつくる・試行的に実施する	各地区の協働事 業実施支援のプ ログラムを実施 する			
地域活動に関	ア	広報誌の作成	・サポートオフィスの事業、市内で活動する団体の紹介等を掲載する他、サポートオフィスの知見や活動に有用な情報をとりまとめて発信する(例: 広報、若者の参加、助成金等) ・必要な人に必要な情報を届けるため広報戦略の見直しを行う	広報戦略の見直し	-	実施	2026年度	10回/1500部	5周年記念号(まちだの市民活動情報ブック)+7回/1500部	10回/1500部 (見直し結果を 反映)	10回/1500部 (見直し結果を 反映)	①地域活動の場と担い手の 拡充②地域活動を支える資源の 充実
する情報収集及び発信事	1	ホームページ運営及びSNS・メルマガ等 を活用した情報発信	①ホームページの記事(市内外の活動事例、知見、講座の記録など)を充実させる。 ②SNSの双方向性を活かした情報発信を充実させる。	①掲載総数 ②SNS媒体 数	①107回/ 年 ②3媒体	①400回 ②新たな SNS媒体の 導入2件	2026年度	①ホームページの記事の充実 ②SNSの双方向性を活かした情報発信の充実	見直し(よ り広い層に 届く広報を 実施)			
業								Google	マイビジネス、LINI	5、1世		①地域活動の場と担い手の
地域活動を行う組織の基	7	講座・対話の場の開催	②連続講座「まちだづくりカレッジ」(事業計画を策定する講座)は、過去の受講者のヒアリングを実施し、内容をよりニーズに即したものに改訂して実施する。 ③市民セクターの形成及び地域活動の裾野を広げることを目的に、社会状況や地域活動について広い視点でとらえることができるシンポジウム「まちだづくりサロ	回数 ②「まちだづくりカレッジ」 開催回数 ③「まちだづくりサロン特	②1回/年	①56回 ②4回 ③4回	2026年度	①講座の開催 ②「まちだづくり カレッジ」の開催	過去の講座の振りである。	改訂版の実施	改訂版の実施	拡充 ③協働・共創の推進
								③「まちだづくり サロン特別編」 の開催	り返り企画		市内の多様なセクターが参加・交流する講座となる	
盤強化及び人材育成	1	町田市市民協働フェスティバル「まちカ フェ!」実行委員会の事務局業務	町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」を各団体が新たな取り組みや協働事業を試験的に実施する場(ブラットフォーム)として位置づけ、必要な支援を行う。	①協働による企画の実施 ②市内他イベントと連携	-	①40件 ②4件	2026年度	まちカフェ!の開催市内他イベントと連携			まちカフェ!が 町田を代表する イベントとなる	
事業	ウ	「まちカフェ!」おうえん隊(「まちカフェ!」 ボランティア)	① ・「まちカフェ!」全体企画、参加団体支援を行うボランティアとして「おうえん隊」を広く募集し、活動の担い手を増やす。 ・学生おうえん隊の運営ノウハウを市内大学等へ発信する。 ②社会人にも地域の活動に参加するきっかけを提供することを目的に社会人おうえん隊プログラムを構築する。		4大学)	①市内9大学 ②実施	2026年度	の実施(市内5大 学から参加) 社会人(行政職 員、企業)おうえ	学生おうえん隊 の実施(市内7大 学から参加) 社会人(行政職 員、企業)おうえ ん隊プログラム 改善して実施	の実施(市内8大 学から参加) 社会人(行政職	学生おうえん隊9 大学 社会人おうえん 隊プログラムの 構築	
地域活	ア	市内で活動する団体に対する調査	①まちカフェ!参加団体を中心にヒアリング調査を実施し、分析結果を取りまとめて発信する。 ②市内NPO法人や市内団体へのアンケート・ヒアリング等を通じて町田市内の団体の運営課題や町田市内の地域課題の把握をすすめる。(2019年度189法人⇒85回答 2022年12月NPO法人数196法人)	①ヒアリング 実施団体数 ②アンケート 調査実施数	年	①40団体 ②2回	2026年度	ヒアリング実施 (10団体) 市内NPO法人 (200法人)や〇 ごと大作戦参加 団体などへのア ンケートを実施	ヒアリング実施 (10団体) アンケート結果 の分析・発信 講座の見直しと 支援策検討	講座の見直しと 合わせて新たな 支援策実施		①地域活動の場と担い手の 拡充 ②地域活動を支える資源の 充実
動に関する調査研究事	1	市内外中間支援組織へのヒアリング等	市外中間支援組織等の支援状況の把握、関係構築、 市外への認知拡大を目的に、ヒアリングや研修・会議 への参加を行う。	ヒアリング・研修・会議への参加の回数		12回	2026年度	座依頼や視察依	他市からの講座 依頼や視察依頼 の受け入れの仕 組み化		地域活動の先進地としての認知される	
業	ウ	支援体制の強化に向けた調査	行政や市内の大学、企業に対して、協働事業の運営 支援のニーズをヒアリングし、協働事業の実施やおうえ ん隊プログラムへの参加につなげる。	ヒアリング団体数	4団体/年	8団体	2026年度	ヒアリングの実施				
資金調達	ア	資金調達に関する伴走支援事業	・支援対象者のファンドレイジング(クラウドファンディング、助成金、寄付募集など)に伴走支援する。 ・より多くの団体を支援すること及び、団体同士の学び合いを促進するために、講座+個別支援プログラムを開発する。	支援団体数	7団体/年	30団体	2026年度	助成金講座+支援プログラムの 開発・実施	カレッジの見直 しと並行して支 援内容を検討す る	新たなプログラ ムの実施		①地域活動の場と担い手の 拡充 ②地域活動を支える資源の 充実
達支援事業	1	地域活動を支える資源の開拓と仕組みの 構築	地域活動を支える資源(資金、場所等)を開拓し、活動団体に提供する仕組みを構築する。	資源提供の仕組みの構築	-	実施	2026年度	資源開拓(まち カフェ! 協賛 他)と団体への コーディネート 各課の市民協働 ニーズの把握			市民協働推進課と協働し活動する人を支援する仕組みを構築する	